

# 平成26年度家庭教育応援プロジェクト 第1回地域家庭教育推進県中ブロック会議

◇日時

平成26年6月19日（木）  
13:30～16:30

◇会場

郡山市労働福祉会館

福島県教育委員会では、本県の家庭教育の現状と課題を踏まえ、家庭教育の推進や地域の教育力の向上をめざし、本年度より「地域でつながる家庭教育応援事業」として、PTAと連携した家庭教育について親自身が学ぶ機会が充実するための支援や地域で主体的に家庭教育の支援が行えるよう学習プログラムの作成、企業と連携した家庭教育の推進等を実施してまいります

これらの事業の一つとして県内7地区において、学校・家庭・地域が連携し、家庭教育の推進・子どもたちの生活習慣の向上や課題解決に向けて実践的な活動がなされるよう、PTA・学校・地域の子どもに関わっている諸団体・家庭教育支援ボランティア実践者・企業の代表者等による「地域家庭教育推進ブロック会議」を設置し、協議してまいります

本事業のスタートとなる第1回の会議では、委員の皆様から今後の推進についてさまざまな御意見をいただきました



【出席者】

- 幼児教育アドバイザー（学識経験者） \* 県中ブロック会議のアドバイザー
- 郡山市PTA連合会副会長（学校法人エムポリアム幼稚園PTA会長）
- 石川郡連合PTA副会長（平田村立小平小学校PTA会長）
- 田村地方PTA連合会副会長（小野町立浮金小学校PTA会長）
- 郡山市スポーツ少年団副理事長
- 郡山市片平地区主任児童委員
- 石川町主任児童委員
- 郡山警察署生活安全課専門少年警察補導員
- （株）東北電力郡山営業所
- 須賀川市中央公民館長
- 須賀川市放課後子ども教室（あすなろ）コーディネーター
- 家庭教育支援県中協議会会長

【日 程】

時 間	内 容	
13:30～	開 会 行 事	○主催者あいさつ（次長） ○事務局自己紹介
13:40～	事 業 説 明	○「地域でつながる家庭教育応援事業」の概要と「地域家庭教育推進ブロック会議」について
13:50～	自 己 紹 介	○所属先と各団体の活動等について
14:30～	経緯と現状説明	○昨年度までのブロック会議の経緯と本地区の家庭教育の現状と課題について
15:00～	協 議 1	○親子の学び応援講座への取組について
15:30～	協 議 2	○家庭教育応援企業推進活動への取組について
16:00～	協 議 3	○課題解決に向けて県中地区としての取組について
16:20～	閉 会 行 事	○御礼のことば ○諸連絡 ・第2回ブロック会議の内容について

**地域家庭教育推進県中ブロック会議の経緯**

平成23年度よりスタートした「子どもをはぐくむ家庭・地域支援事業」のなかの一つの事業

○目的 「福島県地域家庭教育推進協議会」（本庁開催）と連携を図りながら、県中地区の家庭教育に関する現状や課題を把握し、家庭の教育力・子育て力の向上、子どもたちの生活習慣向上などを図る

○推進員 上記の目的を達成するために様々な分野で活躍される方々を推進委員として委嘱

○ブロック会議 年2回、3年間で6回開催

\* 推進委員それぞれの団体の活動の意義や様子、また、その中で日頃感じている今の子ども達の問題などについて貴重なご意見をいただきながら、県中地区としての取り組みをブロック会議やセミナーを通して昨年まで考えてきた

**ブロック会議のまとめ** \* 地域・家庭での子育てをしていく上での課題として考えられるもの

◎ 家庭（家族＝祖父母・親・子ども） →核家族化

親＝ひとり親、仕事中心、ゆとりがない＝子どもとの関わりが持てない

親であることの自覚が低い。\* 自分を優先

ゲームや携帯で育ってきた親

子＝学習塾等の習い事中心、TVゲームや携帯・オンラインゲームでの一人遊びや間接的なコミュニケーション、放射線の影響で屋外での遊びの制限

親子・兄弟姉妹のコミュニケーション不足

基本的生活習慣の形成→生活面・学習面に影響

◎ 地域

あいさつがない、隣にだれが住んでいるか関心がない

自分さえよければよいと考えている

困っている家庭を何とかしてやりたい気持ちは持っている

## アドバイザーより

◎日本人の良さが東日本大震災時やワールドカップでのサポーターの行動に見られ、世界から賞賛された。この良さを頭に入れながら、この会議で考えていきたい。この会のメンバーに選ばれたという自負を持って、自分たちの組織を少しでもよい方向に進めていくことを大切に積極的に忌憚のない意見を出し合っていたきたい

## 2 協議1 親子の学び応援講座への取組について

### 事業の目的

主として、幼稚園・小学校における家庭教育の推進に向けて、各地区に実施PTAを設置し、親の学び・家庭での実践活動を支援する

### 事業概要

- 県中地区で3つのPTAで実施
- 事業の基本的な運営の仕方
  - ①PTAの課題に基づき、それぞれのPTAでテーマと実践活動を設定
  - ②第1回講座を開設（講師：テーマに合った内容で大学教授による講演）
    - ・講演・実践方法の説明・ワークショップ \*親子での参加できるものであると
  - ③各家庭で実践（チャレンジカード等による実践と評価）
    - \*県作成のチャレンジカードを活用することもできる
  - ④実践の振り返り・授業参観後の懇談会等で、親同士で話し合う
  - ⑤実践報告

### ◇事務局より

- 開催は、天栄村・石川町・玉川村の小学校
- 講師謝金が配当予算の範囲内であれば実施PTAを増やすことも可能
- ブロック会議の委員の皆さんが見学することも可能

### ◇協議内容のまとめ

- 各PTAで講演会を企画し実施している。ラインなどの携帯電話の問題やメディアコントロールについても取り組んでいる。本事業ができるかは、持ち帰って検討したい
- 講演会や学級懇談会に参加する人は決まっている。本当に聞いて欲しい人・話し合いたい人は、なかなか出てくれない。どう働きかけていけばよいのかが課題である
  - ・声かけをしてピンポイントで働きかけることも大切である。誘われて参加した結果「楽しかった」という声もある
  - ・ダメ元で声をかける。きっかけ作りをしていくことが大切である
- 講演会の内容・方法については、よく考えて実施する必要がある
  - ・親子で聞く講座は、講師もどう話したらよいか悩んでしまうところがあり難しい
  - ・親子で体験し、考えること・親子で接する時間を持つことが大切であり、聞くことよりも実践が先という取組も必要ではないか

### ◇アドバイザーより

- 今年度より始まった事業である。ブロック会議として実践するPTAを応援していくという前提に立って考えていきたい。委員としての義務感ではなくコミュニケーションを図りながら取り組んでいきたい

### 3 協議2 家庭教育応援企業推進活動への取組について

#### 事業の目的

家庭教育を推進するための環境づくりに取り組む企業等を募集し、資料の提供、運営のアドバイス、講師の紹介等の支援を行い、地域の家庭教育の推進を働きかける

#### 事業概要

- 家庭教育の推進に関する下記の取組を実施する企業を募集する
  - ①職場の家庭教育推進に向けた取組を実施する
  - ②生活習慣を向上させる取組に従業員へ働きかける
  - ③学校行事への参加が促進されるよう取り組む
  - ④職場見学・体験を実施する（従業員の子や地域の子どもを対象に）
  - ⑤地域行事への協力・支援・行事の開催に取り組む
- 実施報告書の作成

#### 教育庁以外の取組

- 厚生労働省福島労働局「子育てサポート企業」
- 福島県商工労働部「福島県次世代育成支援企業認証制度」

#### ◇事務局より

- 取り組む内容は、すでに多くの企業で取り組んでいるものであり、事業への参加は難しいものである
- 郡山市や須賀川市の商工会議所からアドバイスを受け、子育て世代が会員である青年会議所へも働きかけていく
- 多くの企業が子育て支援への取組をしている。社会教育課の取組をどう企業に伝えていくのか難しい。家庭教育の推進に協力的な企業の情報をいただきたい。個別に働きかける



#### ◇アドバイザーより

- 今年からの事業でもあり年度当初なので、今回は、大きな展開ではなく事業の理解と今後の方向性を明確にしていく

#### ◇委員より

- 東北電力の取組について
  - ・職場の家庭教育の推進については、労働組合が取り組んでいる
  - ・職場体験や見学については、学校から依頼を受けて実施している
  - ・地域行事の参加については、地域協調活動としてうねめ祭りに参加している
  - ・エネルギー出前講座を各学校で実施（昨年32講座）している
- \*今まで取り組んできたことでもある。社会貢献の意味でも協力していきたい

4 **協議3** 課題解決に向けて県中地区の取組について

※時間の関係上協議できなかったが、委員より以下の意見が出された

○大人のメール活用を減らし、会話を増やす機会を持ちたい

○小さなことから意識してやっていくことが大事

5 **諸連絡** 第2回ブロック会議の内容について

○期日：11月28日（金）13：30～

○内容：実践報告 \*PTA（代表者から直接） \*企業の取組（報告書で）

本年度の成果と課題

次年度の活動について                      を予定している

